

教 育 研 究 業 績 書		
2019年5月1日		
氏名 梶木 克則 印		
研 究 分 野	研 究 内 容 の キ ー ワ ー ド	
情報処理, 光情報処理	情報処理教育, 教育支援システム, 3次元像再生・立体視	
教 育 上 の 能 力 に 関 する 事 項		
事項	年月日	概 要
1 教育方法の実践例		
Web検索やワープロによる文書作成を伴うコンピュータ関連授業の進め方 （該当科目：キャリアデベロップメントセミナー・Ⅰ）	平成17年4月から19年3月まで	従来は一般教室で講義形式の授業を行ってきたが、パソコン演習室を利用し教示用モニタに写真や動画による資料を表示させることができる。さらにプリントをファイルで配布し、各自ワープロを使って解答を完成させ、保存・印刷して提出することで、Web検索なども利用した文書作成の練習にもなる。
表計算・データベースソフトを駆使した資格取得対策授業の進め方 （該当科目：初級システム講座Ⅱ・Ⅲ）	平成20年4月から23年3月まで	資格取得の受験科目に含まれる内容について、パソコンの表計算やデータベースソフトを使いながら過去問題に取り組むことで、より実践的に理解し応用できるようにした。
パソコン教室での出席管理 （該当科目：情報処理ⅠA・ⅠB, 情報処理演習Ⅱ, キャリアデベロップメントセミナー・Ⅰ）	平成17年10月から20年3月まで	情報処理演習などパソコン教室を使う演習科目において、学生自身がパソコンのWeb画面を通じて出席登録を行い、その際これまでの出席状況を確認できるようにした。過去の出席一覧と時刻が表示されるため、遅刻防止につながる。
一般教室での出席管理 （該当科目：計算機概論, 20年度からは、計算機概論, 初級システム講座Ⅱ・Ⅲ, 情報処理ⅠA・ⅠB, 情報処理演習Ⅱ）	平成19年4月から平成29年まで	一般教室においても携帯電話のWeb機能を活用して学生自身が出席登録を行えるようにした。登録した時刻が記録されることと、出席管理の省力化につながっている。
eポートフォリオの運用と活用 （該当科目：キャリアスタートアップ）	平成23年4月から現在に至る	教養演習Ⅰ（後にキャリアスタートアップ）のワークブックの記入内容の一部をeポートフォリオにも入力・蓄積し、教員から評価やコメントのフィードバックを返し、学生と教員とが相互につながるシステムを運用・支援している。
eラーニングによる小テスト （該当科目：統計学入門, 情報処理応用演習A）	平成24年4月から現在に至る	eポートフォリオシステムに内蔵されているeラーニングシステムを使い、事前事後学修のための小テストを作り、小テストの設問・選択肢の作り方について改良・運用を行っている。
2 作成した教科書, 教材		
甲子園大学情報処理演習テキスト16年度版	平成16年4月	演習テキストは、初年次の情報処理演習用に担当教員で執筆したもので、パソコンの基本操作からタイプ練習法、メールとインターネット検索の仕方、ワープロと表計算の基礎的な部分までをカバーしている。
甲子園大学情報処理演習テキスト17年度版	平成17年4月	
甲子園大学情報処理演習テキスト18年度版	平成18年4月	
甲子園大学情報処理演習テキスト19年度版	平成19年4月	
3 教育上の能力に関する大学等の評価		
日本語文書処理技能検定試験3級およびビジネスコンピューティング検定試験3級の学内実施を担当（試験監督と採点）	平成13年度から平成17年度まで	宝塚商工会議所の許諾のもと学内でワープロと表計算の実技を伴う2つの検定試験を前期と後期それぞれ1回ずつ3人の監督者で実施・採点までを行った。試験前の2週間に、対策講座を実施。
日商P C検定試験（文書作成）3級および日商P C検定試験（データ活用）3級の学内実施を担当（試験監督）	平成18年度から現在に至る	平成17年度までの検定試験に代わるもので、オンライン試験になり採点の作業が不要になった。回数はそれぞれ年2回以上に。数年前から授業時間中に検定試験を実施。
4 実務の経験を有する者についての特記事項		
5 その他		

職 務 上 の 実 績 に 関 す る 事 項				
事項		年月日	概 要	
1 資格, 免許 第2種情報処理技術者 (第21908263号) 第1種情報処理技術者 (第11905739号)		昭和62年 6月 昭和63年 1月		
2 特許等				
3 実務の経験を有する者についての特記事項				
4 その他				
研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書, 学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所, 発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
1 マイコンセンサシステム入門	共著	昭和61年9月	海文堂出版株式会社	センサーからの出力信号をマイクロコンピュータに入力するためのインターフェイス技術に関して具体的に分かりやすく解説した。各種センサーの解説から, それらの出力信号を増幅, フィルタリング, 伝送する方法, その後マイクロコンピュータに入力するためのAD変換回路を含むインターフェース技術, それらをマイクロコンピュータに取り込むためのプログラムまでを解説している。(182頁) 担当部分: 12章, 14章 (pp. 113-117, pp. 135-153) (志水英二, 辻野啓一, 梶木克則)
2 初歩から学ぶコンピュータ (リテラシー入門)	共著	平成14年3月	パワー社	大学生向けにパソコンの基本操作を解説した入門書。Windowsの基本操作から, メール, Web検索, ワードプロ, 表計算, プレゼンテーション, ホームページ作成まで広くカバーしている。Windows XPの起動とログインから始まり, ファイルやフォルダの扱い, Microsoft Word 2002での文書の編集, Excel 2002での計算やデータ処理, グラフ作成など。Power Pointを使ったプレゼン用のスライド作りやホームページビルダーを使つてのホームページ作りを盛り込んでいゐる。(214頁) 担当部分: 第3章(pp. 31-68), 第4章(pp. 69-126) (上向井照彦, 岡安祥夫, 梶木克則, 那須靖弘, 米澤忠幸, 梶井猛)
:				
(学術論文)				
1 ミニアンケートを題材として取り入れた情報処理演習	単著	平成26年3月	甲 子 園 大 学 紀 要 No. 41, pp. 81-86	平成25年度前期の情報処理演習において, 身近な題材として各自でアンケートの作成, 結果の集計分析, レポート集約, 発表までを関連付けて学べる演習の実践内容に関するものである。自分で考えた二択のアンケートであり, 得られた生のデータを使うことから, 身近な題材としてとらえ, 興味を持って取り組んでもらえると考えた。(6頁)
2 グループによるアンケート作りを題材としたアクティブラーニングの試み	単著	平成27年3月	甲 子 園 大 学 紀 要 No. 42, pp. 1-6	平成25年度後期の情報処理演習において, 前期の個人によるアンケートの作成を踏まえて, 後期はグループによる話し合いでアンケートの設問・選択肢などを決め, 結果の集計分析, レポート作りを経て, グループによるパワーポイント作りと発表までを行った。グループでの話し合いにはSNSのチャットを活用して行った。(6頁)
3 eラーニングを活用した小テストによる予習としての本読みの促進	単著	平成28年3月	甲 子 園 大 学 紀 要 No. 43, pp. 27-33	平成26年度の統計学入門において, 授業時間中はできるだけパソコンによる演習に時間を費やしたいと考え, 予習としての本読みを促進するためにeラーニングによる小テストを実施した。小テストを実施するにあたっての試行錯誤と予習に関するアンケート結果について述べてゐる。(7頁)

4 新入生に対する携帯電話と情報スキルに関するアンケート結果について	単著	平成29年3月	甲子園大学紀要 No. 44, pp. 73-78	2012年度から2016年度まで、高校での情報教育特にパソコンスキルに関連する部分についてのアンケート調査の結果について述べている。旧型携帯電話からスマートフォンに切り替わっていった時期でもある。高校でどれだけパソコンについてのスキルが身についてきているか、変化が分かる。(6頁)
5 オフィスオンラインの共同編集機能による全員参加型授業の試み	単著	平成30年3月	甲子園大学紀要 No. 45, pp. 7-12	オフィスオンライン(Excel Online, Powerpoint Online など)の共同編集機能を情報処理演習やワークショップなどいろいろな場面で活用し、ICTによる全員参加型の授業の試みに関する実践例について述べている。(6頁)
6 OneNote Online によるeポートフォリオのクラウド化	単著	平成31年3月	甲子園大学紀要 No. 46, pp. 1-7	平成23年から本格運用を開始したeポートフォリオは、eラーニングシステムのMoodleの一部の機能を使って、学生と教員とがそれぞれ成果と評価を書き込み、相互に確認できる環境を提供してきた。学内のサーバーを整理することになり、Moodleの代わりにOneNote Onlineを使い、eポートフォリオのクラウド化を実現した。(7頁)
：				
(学会発表)				
1 初年次キャリア教育科目におけるeポートフォリオの利用	共著	平成26年9月	平成26年度 教育改革 ICT戦略大会, A-9, 私学会館 (東京)	教養演習Ⅰにeポートフォリオを組み合わせ、eポートフォリオへの入力とそれを通じての評価やコメントのフィードバックを返している。学生からは、評価を見ての感想を、ePFを通じてフィードバックしてもらっている。ePFを通じたそうしたやり取りの、3年間にわたる運用結果についてまとめている。担当部分：運用を担当 (梶木克則, 西川真理子, 増田将伸, 岡邑衛)
2 グループによるアンケート作りと発表を取り入れた情報処理演習	共著	平成26年9月	教育システム情報学会第39回全国大会, G3-4, 和歌山大学	操作スキル習得中心であった情報処理演習を、個人でアンケート作りから集計処理、レポート作りやプレゼン発表までを行う演習内容に変える試みを行った。その結果を踏まえて、今度はグループによるアンケート作り、発表準備と発表を行う演習に発展させた。そうした取り組み結果に関する発表である。担当部分：立案と実施のほとんどを担当 (梶木克則, 榊井猛)
3 グループによるアンケート作りと発表を取り入れた情報処理演習(2)	単著	平成27年9月	教育システム情報学会第40回全国大会, A5-3, 徳島大学	情報処理演習の後期では、グループによるアンケート作り、発表準備と発表に取り組んでいる。25年度は話し合いにSNSを使い、個人の発言が記録されるようにした。2年目の26年度後期には、グーグルのスプレッドシートの共同編集を活用してオンラインの話し合いを行った。SNSよりも意見の集約が効率よく行えた。そうした取り組みに関する発表である。
4 事前学修としての本読みを徹底するための小テストの試み	単著	平成27年9月	平成27年度 教育改革 ICT戦略大会, A-7, 私学会館 (東京)	統計学入門という授業の予習としての本読みを徹底してもらい、スムーズに説明や演習に入っていけるように、事前学修に時間を費やしたことを確かめる手立てとして、授業の始めにeラーニングによる小テストを行うことにした。小テストの実施にあたり試行錯誤して改良した経緯に関する発表である。
5 大学入学時のスマホ・情報スキル・タイピングに関する調査について	単著	平成28年8月	教育システム情報学会第41回全国大会, C6-1, 帝京大学	2012年度から2016年度まで実施した、入学時の情報スキルに関するアンケート調査の結果について、その変化と特徴を発表した。旧型携帯電話からスマートフォンに切り替わっていった時期でもあり、高機能なスマートフォンに対して情報セキュリティの面の指導が必要であることをなどを強調した。
6 事前事後学修に向けた小テストの試み	単著	平成28年9月	平成28年度 教育改革 ICT戦略大会, A-11, 私学会館 (東京)	統計学入門の予習としての本読みを促進すべく、授業の始めにeラーニングによる小テストを実施して2年目、小テストのやり方において多肢選択式が答えやすく、十数個の間の答えを選択肢とする作り方が負担が少なく良いことについて、これまでの経緯を含めた発表である。

7 オフィスオンラインの画面共有による共同作業の活用	単著	平成29年8月	教育システム情報学会第42回全国大会，H6-3，北九州国際会議場	オフィスオンラインの共同編集機能を活用して多数の人が画面を共有して同時書き込みができ、情報処理演習やワークショップなどいろいろな場面で、共同作業を行った実践例について発表した。
8 事後学修を重視した前回演習内容想起のための小テストの試み	単著	平成29年9月	平成29年度 教育改革 I C T 戦略大会，A-5，私学会館（東京）	統計学入門の授業において、予習としての本読みを促進すべく、事前学修のための小テストをeラーニングを使って実施してきた。テキストがより専門的な内容のものに変わり、前回の演習内容を想起させる小テスト（事後学修重視）に変えた。これまでの文章の穴埋めではない、図もまじえた形式の小テストの実践結果に関する発表である。
： (社会教育活動)				
1 パソコン入門講座		平成25年9月9日～12日（4日間）	甲子園大学 公開市民講座	ワードの基本操作から、オリジナルの名刺・ハガキやちらし作り、デジカメで撮った写真の編集など、パソコンで楽しむ、初心者向きの講座（梶木克則，西川真理子，前馬優策）
2 ワード入門		平成26年3月18日（1日間）	甲子園大学春季市民公開講座	初心者向けにワードの基本操作を確かめながら習得してもらう。文書と画像のレイアウト，表作成，図形の基本までと，簡単な定型文書作りまでを行う講座（梶木克則）
3 ワード入門		平成26年8月28日（1日間）	甲子園大学夏季市民公開講座	春の公開講座とほぼ同じく，初心者向けにワードの基本操作を確かめながら習得してもらう。文書と画像のレイアウト，表作成，図形の基本までと，簡単な定型文書作りまでを行う講座（梶木克則）
4 ワード入門		平成27年3月17日（1日間）	甲子園大学春季市民公開講座	前年度の夏の講座とほぼ同じく，初心者向けにワードの基本操作を確かめながら習得してもらう。文書と画像のレイアウト，表作成，図形の基本までと，簡単な定型文書作りまでを行う講座（梶木克則）
5 パソコン体験 -簡単！！アンケート調査とグラフ化-		平成28年3月10日（1日間）	甲子園大学春季市民公開講座	インターネットのクラウドサービスを利用してWeb上にアンケートを作り、アンケートのアドレスを送ってアンケートに答えてもらい、得られた回答結果を集計してグラフ化するまでのパソコン体験講座（梶木克則）
6 パソコン基礎講座（実習） ーワードを使って写真アルバム作りー		平成29年2月24日（1日間）	甲子園大学春季市民公開講座	初心者向けにパソコンの実習を伴う講座で、ワードを使って写真と文字をレイアウトする講座。ワードアートによるタイトル文字、自由な位置に写真を配置する手順、テキストボックスによるキャプションなどの実習。
7 パソコン実習「ワードでチラシ作り」		平成30年3月5日（1日間）	甲子園大学春季市民公開講座	初心者向けにパソコンの実習を伴う講座で、ワードを使ってチラシを作る講座。ワードアートによるタイトル文字、イラストの挿入、表の作成、地図の貼付けなどの実習。
8 Word を使った写真アルバム作り		平成31年3月8日（1日間）	甲子園大学2018年度公開講座	H29年2月の公開講座の写真アルバム作りの内容にPDFファイルに変換する操作を追加して実施した。ワードのバージョンが、2010から2016に変わり、多少画面の様子が以前と違っているところがある。
：				

(注)

- この書類は、学長（高等専門学校にあっては校長）及び専任教員について作成すること。
- 医科大学又は医学若しくは歯学に関する学部若しくは学部の学科の設置の認可を受けようとする場合、附属病院の長についてもこの書類を作成すること。
- 「研究業績等に関する事項」には、書類の作成時において未発表のものを記入しないこと。
- 「氏名」は、本人が自署すること。
- 印影は、印鑑登録をしている印章により押印すること。ただし、やむを得ない事由があるときは、省略することができる。この場合において、「氏名」は、旅券にした署名と同じ文字及び書体で自署すること。